

# 2018年度 事業計画書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

特定非営利活動法人さんぴいす

## 1 事業実施の方針

ひとを育てる まちを育てる 学びを育てる さんぴいす ～学びの原点は遊び！～

法人設立より事業の拡大を進めてきたが、11年目を機に事業の見直し、再編を進めてきたが今年度は、その集大成として事業再編を完了し、来年度迎える15年目をさんぴいすの新たなスタートラインと出来るように事業を進めていく。

### 今年度の重点事業

今年度は、事業全体の再編の完了を最優先課題とし、今後さんぴいすとして継続していく事業と、さんぴいすでなくても可能な事業と割り振りと移行を着実に進めていく。

以下、事業毎に今期予定されている主だった活動について記す。

## 2 各事業部門方針

### ・子どもの健全育成事業部門

#### －エマジエネティックス（EG）と4shapesを活用した教育事業＜学びを育てる＞

今年度中にNPO法人アクティブ・ラーニング・アソシエーションに本事業は移行する。

#### －コミュニケーション力を高めることにより学力向上を図るプロジェクト＜学びを育てる＞

さんぴいすとしてこれまで蓄積したノウハウを活かしたオリジナルメソッドの開発については引き続き行うが、実際の授業などメソッドの実施については、今後はNPO法人アクティブ・ラーニング・アソシエーションを中心に行う。

#### －環境学習＜ひとを育てる＞

「アシレンジャー」「さんぴいす冒険倶楽部（SAC）」「冒険ひろば」等の事業については参加者のニーズに合わせ、今後も継続して実施していく。

#### －行政対象研修＜ひとを育てる＞

今後は原則としてNPO法人アクティブ・ラーニング・アソシエーションへの移行を行う。ただし、一部研修については引き続きさんぴいすとして実施する場合もある。

#### －キャリア教育＜ひとを育てる＞

上記同様原則としてはNPO法人アクティブ・ラーニング・アソシエーションへの移行を進めていく。ただし、これまで築き上げた大学等との連携については、継続して維持をしていく。

### ・情報・科学技術の活用推進事業部門

#### －携帯電話・インターネットに関する勉強会＜学びを育てる＞

初等・中等教育の現場からの依頼については、引き続きさんぴいすとして事業を継続。企業等との連携については、NPO法人アクティブ・ラーニング・アソシエーションへの移行を進める。

## ・コミュニティ活性化事業部門

### ー芦屋バルの開催くまちを育てる>

来年度は10回目の記念すべき回を迎えることもあり、9回の開催だけでなく、更なる継続的開催を目指し、実行委員会の再編やバルを活用した地域の活性化について更に注力していく。

### ー商店会の活性化くまちを育てる>

本通り商店会と芦屋なるみか会の事務局として、公的資金を活用した地域活性化にも積極的に参画して、街の活性化に寄与する。

### ーまたあしたプロジェクトへの参加くまちを育てる>

高浜高層団地の地域再生プロジェクトも本格稼働から2年目を迎える。昨年度は兵庫県の地域祖父母事業やふるさと伝承事業を本事業としておこなったが、今年度も継続して実施。また、昨年度途中から冒険ひろば事業の開催場所も高浜高層団地に移したことにより、それら事業の相乗効果を本年度も期待したい。

### ーひょうご子育てコミュニティ事務局業務

当法人以外の団体でも事務局が担える体制を整えるために、事務局業務の見直しと事務データの整理を進める。

## ・自立支援推進事業部門<ひとを育てる>

### ーペルル・MIGAKU

芦屋市が進める女性活躍推進事業である芦屋リジュームとの協働、芦屋市商工会の商工会館に設置されるコワーキングスペースの活用も含め、女性の活躍推進の支援を続けていく。

## ・市民活動支援事業部門<ひとを育てる>

### ーインターンの受け入れ

学生ならびに社会人のインターンの募集を継続すると共に、インターンやボランティアとは異なる新たな概念と呼び名作りにも挑戦していく。

## ・文化・伝統・技術等の伝承事業部門<学びを育てる>

さんぴいす冒険倶楽部やMIGAKU、またあしたプロジェクト等を通して異世代間の交流を促進し、互いの持つノウハウの伝承に協力をしていく。

以上